平成27年11月16日　企画部門承認
平成27年11月20日　理事会承認

土木学会 見える化データ　2015

土木学会は、2014年に創立100周年を迎えた公益社団法人です。学会個人会員数は約37,000人、その多くは企業に所属する土木技術者です。土木学会には、50以上の委員会が設置され、多くの学会員が参加し活発に活動しています。

ここでは、土木学会の2014年度の活動のうち、社会支援、社会とのコミュニケーション、社会への直接的貢献を目的とした活動などを抜粋して紹介します。多くの皆様にご覧いただき、開かれた学会として、より良い方向へ発展し続けていきたいと考えています。

2015年11月20日

公益社団法人 土木学会
企画委員会　見える化WG
担当：椛木洋子（主査）、山田菊子
http://committees.jsce.or.jp/kikaku/mieruka2015

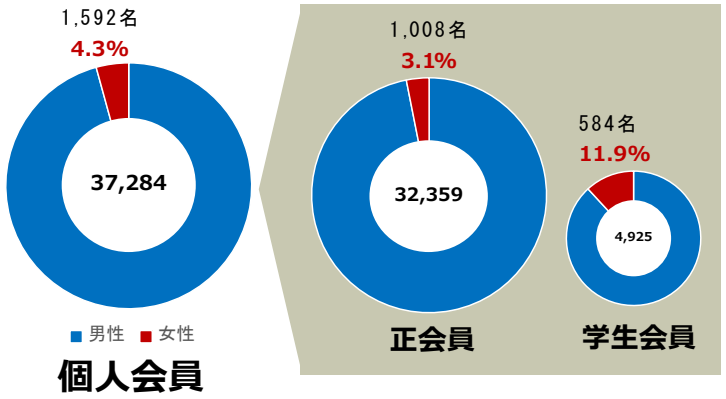
掲載データー覧

●会員構成 ---------- 2
性別会員数、年齢構成
●広報 ---------- 3
記事掲載数、記者発表数
●国際交流 ---------- 4
国際ジョイントセミナーの開催と派遣
●トークサロン ---------- 5
講師とテーマ
●イブニングシアター ---------- 6
イブニングシアター参加者数
●災害調査団 ---------- 7
派遣実績
●教育企画・人材育成 ---------- 8
小中学校学習支援
●支部活動 ---------- 9 – 10
各支部の活動
●委員会活動 ---------- 11
出版

会員構成

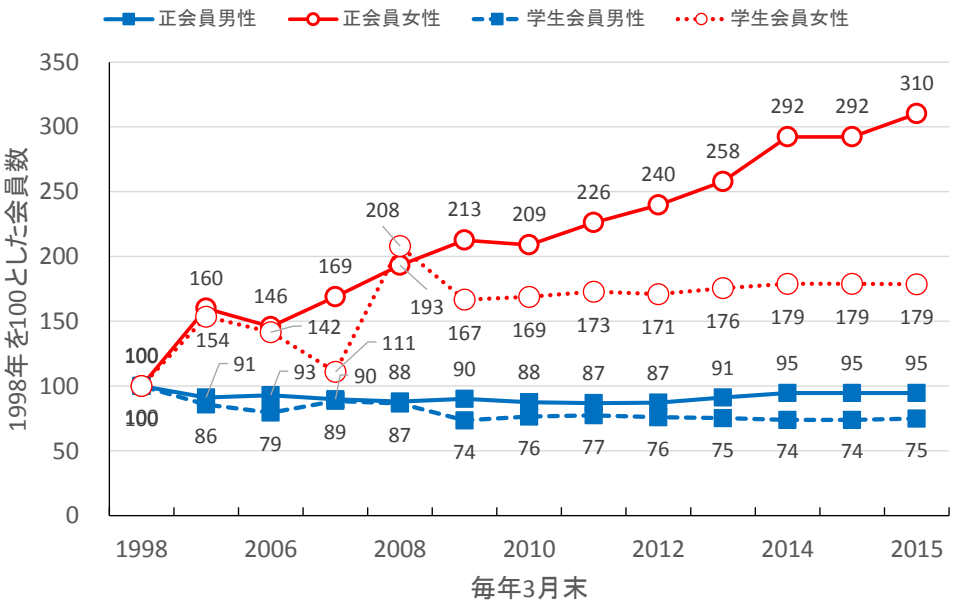
- 土木学会には37,284人の個人会員が所属しています。会員のうち4.3%が女性で、その割合は正会員では3.1%ですが、学生会員では11.9%にのぼります。
- 女性会員の割合は増加し続けており、30歳未満の会員が半数を超えています。

個人会員の数と性別の構成

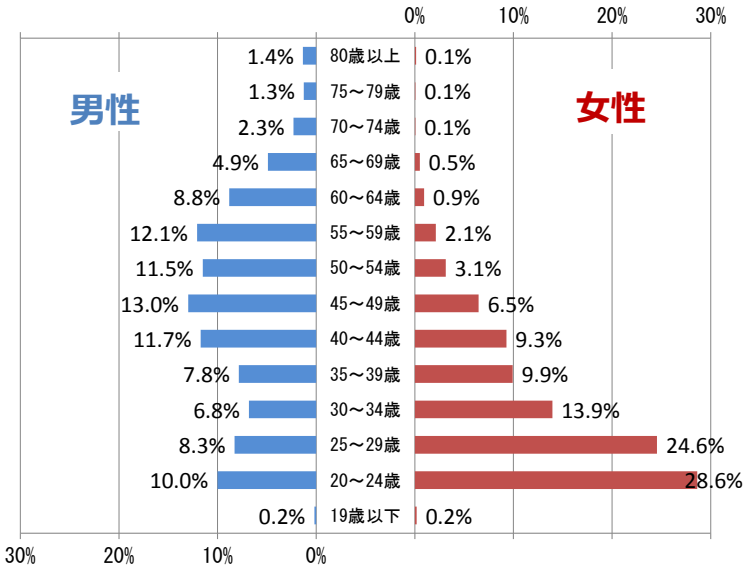


2015年3月31日現在の数値.

個人会員の性別・分類別の推移



個人会員の性別・年齢階層別構成



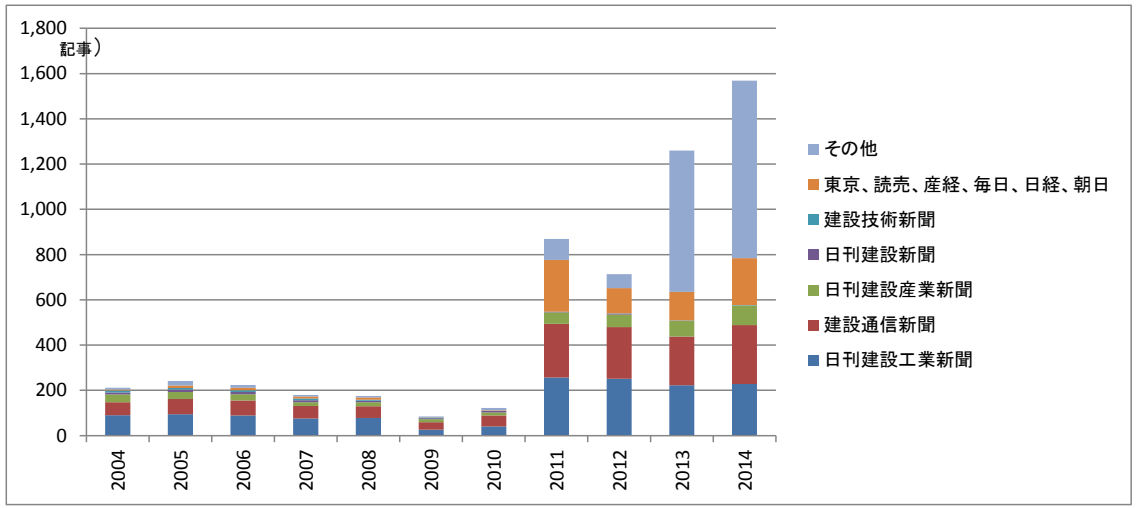
2015年3月31日現在の数値.

ダイバーシティ推進委員会
http://committees.jsce.or.jp/diversity/

広 報

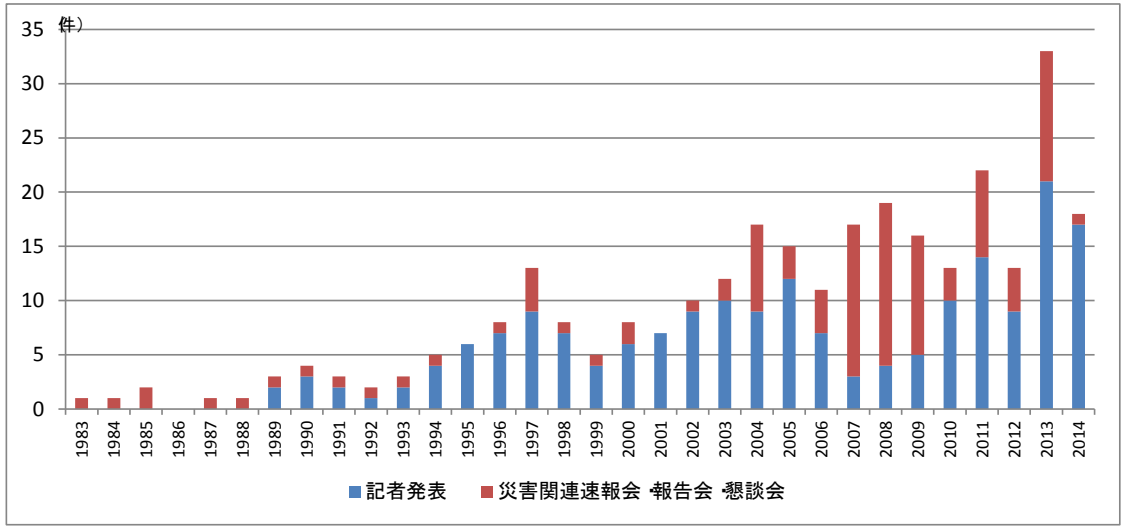
- 2014年度1,500件を超える記事が掲載されました。半数は、業界紙や一般紙以外のメディアでした。
- 土木学会では年間18回の記者発表を開催しました。

記事掲載数



注）2011年度からはWebを含む。

記者発表数



注）災害関連速報会・報告会・懇談会：災害関連の速報会・報告会・懇談会
記者発表：土木学会賞、会長就任インタビュー、報道機関懇談会、「土木の日」会長インタビュー等

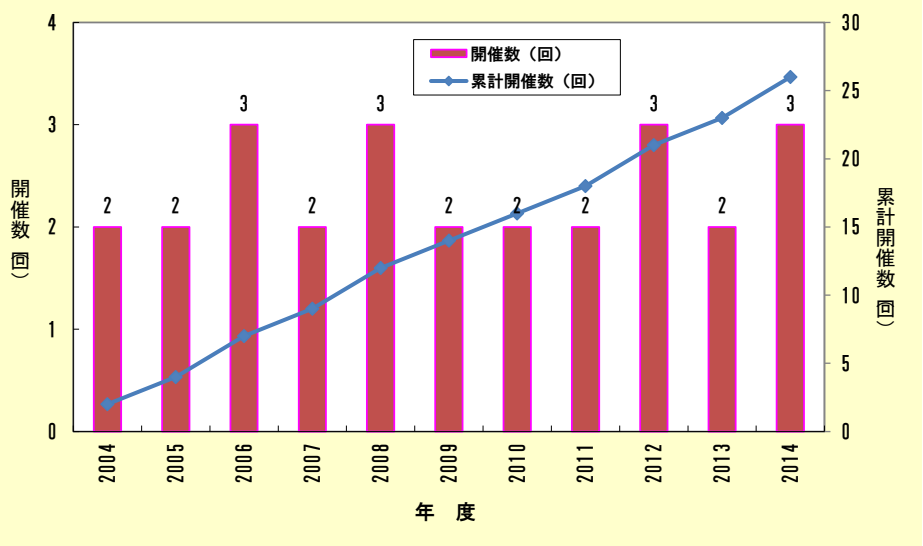
土木広報センター
http://committees.jsce.or.jp/cprcenter/

社会コミュニケーション委員会
http://committees.jsce.or.jp/publicity/

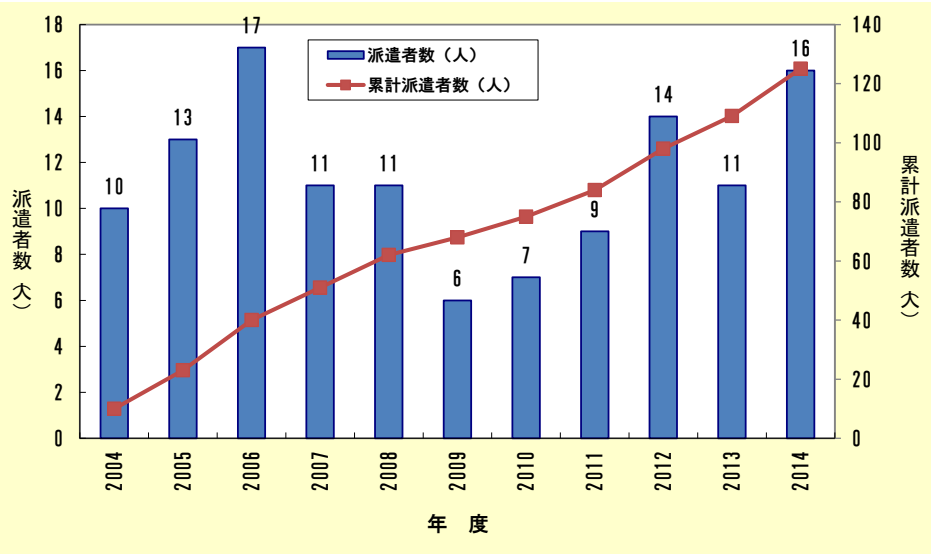
国際交流

- 土木学会では、毎年、国際ジョイントセミナーを開催しています。
- このうち「公益信託土木学会学術交流基金」の助成を受けて実施されたものの記録をご紹介します。
- 2014年度には3回の国際ジョイントセミナーを開催し、16名を海外に派遣しました。派遣先はタイ、フィリピン、ベトナムです。

国際ジョイントセミナー開催数



国際ジョイントセミナー派遣者数



国際センター
http://committees.jsce.or.jp/kokusai/

トークサロン

- 土木学会では、一般の方も対象として、時々の社会で注目されている土木工学に関連する話題について、講師をお招きしてお話をいただき、参加者と懇談・討議をしていただく「トークサロン」を定期的に開催しています（参加費は、通常1回500円です）。
- 2014年度は第39回、第40回を開催しました。
- 2003年4月の第1回から2015年2月の第40回まで、延べ1,694人の方に参加いただきました。

トークサロンの講師とテーマ

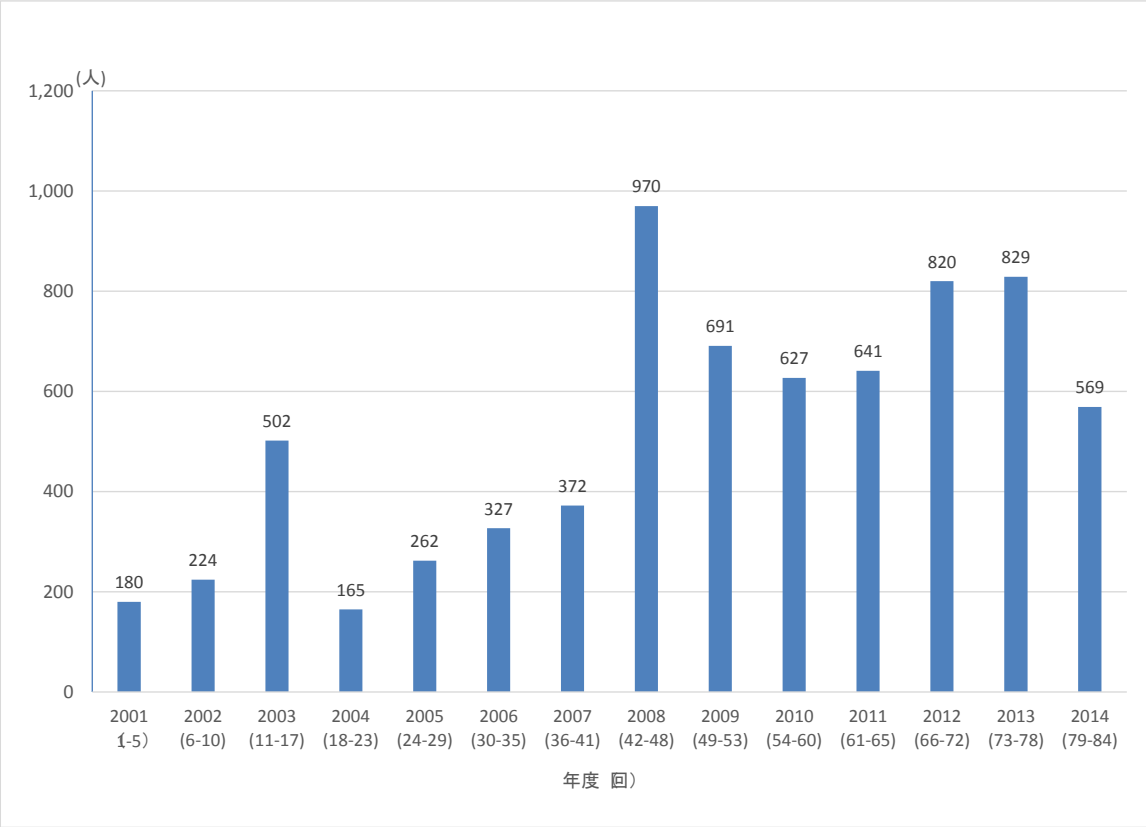
回数	開催日	講　師 （敬称略）	テーマ	参加者数
第39回（1回目）	2014年11月10日	植田 今日子 千葉 一 富田 宏 山内 繁樹 長野 章	**東日本大震災復興フォローアップセミナー** 「生活・生産の場としての漁村再生」 コーディネータ：清野 聡子	40名
第39回（2回目）	2014年12月15日	富田 孝史 有川 太郎 高橋 智幸	**東日本大震災復興フォローアップセミナー** 「津波対策技術のフロンティア」 コーディネータ：佐藤 慎司	30名
第39回（3回目）	2015年1月27日	清野 聡子 岡田 智秀 佐々木 晶二	**東日本大震災復興フォローアップセミナー** 「海岸地域の総合的利用管理」 コーディネータ：有川 太郎	44名
第40回	2015年1月27日	山岡 淳一郎	**「インフラの呪縛－公共事業はなぜ迷走するのか」**	19名

企画委員会
http://committees.jsce.or.jp/kikaku/taxonomy/term/6

イブニングシアター

- 土木学会では、「イブニングシアター」「市民公開特別上映会」「全国大会映画会」など、一般の市民を対象に、土木技術に関する無料の映画会を定期的に開催しています。このうち「イブニングシアター」はこれまでに84回、開催しました。
- 2001年11月から2015年3月までの間に84回開催し、延べ6,697人の方にご参加いただきました。
- 2014年度は東京都内で7回、開催し、569人の方が参加くださいました。

イブニングシアターの参加者数推移



注）全国大会・特別上映会を除く。

土木技術映像委員会
http://committees.jsce.or.jp/avc/

災害調査団

- 土木学会では、国内外を問わず大災害が発生した際に、発災後ただちに災害対策本部を設置し調査団を派遣して、専門的調査を行い、学術的、技術的見地からメカニズムの解明と防災上の提案を行っています。
- 東南アジアを中心とする海外へは、1999年から2013年の間に、33回、延べ351人の調査団を派遣しています。2014年は広島豪雨災害に延べ44名の調査団を派遣しました。

災害調査団派遣実績（海外）

年	調査団派遣数（回）	延べ団員数（人/年）	派遣国・地域等
1999年	2	32	台湾（地震）、トルコ（地震）
2000年	1	7	メコン河（水害）
2001年	3	27	エルサルバドル（地震）、インド（地震）、ペルー（地震）
2002年	2	35	イラン（地震）、ヨーロッパ（水害）
2003年	2	15	トルコ（地震）、アルジェリア（地震）
2004年	1	11	イラン（地震）
2005年	4	67	スマトラ（地震）、アメリカ（水害）、パキスタン（地震）、インドネシア（地震）
2006年	2	21	ジャワ島（地震）、スマトラ（地震）
2007年	3	22	ペルー（地震）、スマトラ（地震）、バングラデシュ（水害）
2008年	3	11	インドネシア（地震）、中国（地震）、ミャンマー（水害）
2009年	4	47	イタリア（地震）、台湾（台風・水害）、インドネシア（地震）、フィリピン（水害）
2010年	2	24	チリ(地震)、クライストチャーチ(地震)
2011年	2	20	タイ(水害)、トルコ(地震)
2012年	1	2	アメリカ（ハリケーン）
2013年	1	10	フィリピン（台風・高潮）
2014年	0	0	

災害調査団派遣実績（国内）

年	調査団派遣数（回）	延べ団員数（人/年）	災害名
1998年	1	6	福島・栃木・茨城水害
1999年	1	10	広島県土砂災害
2000年	4	22	有珠山噴火、神津島近海地震、東海豪雨災害、鳥取県西部地震
2001年	1	11	芸予地震
2002年	0	0	
2003年	5	102	三陸南沖地震、九州北部・中部豪雨災害、宮城県北部地震、平成15年8月台風10号豪雨災害・北海道胆振・日高地方災害、十勝沖地震
2004年	5	97	北陸豪雨災害、四国豪雨・高潮災害、平成16年9月台風21・22号災害、平成16年10月 台風23号災害、新潟県中越地震災害
2005年	1	21	福岡県西方沖地震
2006年	2	23	平成18年7月豪雨災害、平成18年11月北海道佐呂間町竜巻災害
2007年	2	33	能登半島地震、新潟県中越沖地震
2008年	2	13	岩手・宮城内陸地震、都賀川水難事故
2009年	2	16	防府土砂災害、兵庫県佐用町河川災害
2010年	2	23	中国地方豪雨災害、広島県庄原市土砂災害
2011年	3	37	新潟・福島豪雨災害、台風第12号土砂災害、上越地滑り災害
2012年	1	34	九州北部豪雨災害
2013年	2	29	伊豆大島豪雨災害（事前調査、本格調査）
2014年	1	44	広島豪雨災害

社会支援部門
http://committees.jsce.or.jp/report/

教育企画・人材育成

- 小中学校の総合学習および理科・社会などの教科教育において活用して頂ける教材の提供や出前講座等の実施の支援しています。2014年度は、他組織と協力し8件を実施しました。代表的なものをご紹介します。

小中学校学習支援

支援題目	時期	実施先	支援対象	授業内容
災害と コンクリート	2014/ 06/06	鹿沼市立 津田小学校	鹿沼市立津田小学校 5年生25名、家族30名	「災害とコンクリート」をテーマにプレゼンし、カラーコンクリートを使用した手形壁飾りを作成する親子レクリエーションを実施した。
環境学習 （総合）	2014/ 07/16, 09/16	多摩川及び 大栗川	東京都多摩市立 多摩第一小学校 4年生120名	「総合学習」を活用した身近な環境調べ。多摩川を題材に、「水質調査（水の汚れ調べ）」の他、「水辺の動植物」、「魚類」、「河原の石」、「河川敷のゴミ」について、複数の地点で調査し、結果を整理する。
アーチ橋のはなし －形の魅力とふしぎー	2014/ 07/26	宇都宮市立 東図書館	宇都宮市立東図書館 子ども教室受講者15名 （市内の小学3～６年生）	アーチ橋の歴史とその形の強さについて、小学生向けの授業を工夫して解説した。古代の橋から現代の橋まで、実例を示しながら橋の歴史を説明した。併せて、石造アーチ橋の構造的な仕組みを子供たちに実感してもらうために、アクリルブロックと砂を使った簡単な実験を行った。
インフラ整備の 重要性を理解しよう ～“道路が出来るまで”と コンサルタントの仕事～	2015/ 01/23	福岡県 筑紫野市立 原田小学校	福岡県筑紫野市立 原田小学校 4年生40名	道路や橋・河川など具体例を挙げ、インフラ整備が国民の安全・安心な暮らしになくてはならないものであることを説明しました。 生徒からは、「道路や橋などのインフラの重要性がよく分かった」、「コンサルタントという仕事に興味を持った」などの感想を数多く頂き、大変盛況でした。
大地の変化を 調べよう	2015/ 03/05	群馬大学 教育学部 附属小学校	群馬大学教育学部 附属小学校 6年生 149名	理科「「大地の変化を調べよう」の単元における体験学習として「液状化実験」の出前授業を実施した。

●災害とコンクリート

●環境学習

●インフラ整備の重要性を理解しよう

●大地の変化を調べよう

教育企画・人材育成委員会　キッズプロジェクト検討小委員会
http://committees.jsce.or.jp/education12/

支部活動（1/2）

- 土木学会には、全国に8支部があり、土木への理解とご意見をいただく機会として、各種行事を開催しています。各支部の代表的な行事をご紹介します。

各支部の活動

支部	行事名	開催日	開催場所	概要	参加者数
北海道	オープンラボ in 伊達	2014/08/30	伊達市防災センター	第10回伊達市消防防災フェア（西胆振消防組合・伊達市主催）が開催され、室工大の学生が参加し、防災に関するデモ実験や体験アトラクションを行った。今回、出展した「津波に関するデモ実験」、「ペットボトルで液状化」、「セメントで手形を作ろう」のコーナーを設けた体験学習会。	一般300名
東北	国連防災世界会議公開シンポジウム	2015/03/16	仙台市せんだいメディアテーク	タイトル：「あの日」から，土木技術者がしたこと　That has been done by the Japanese Civil Engineers since Mar. 11, 2011」として、公開シンポジウム行った。（主催：土木学会本部、東北支部）	430名
関東	第20回コンクリートカヌー大会	2014/8/30	荒川調整池「彩湖」	土木の主材料によるコンクリートでカヌーを作り、ものつくりの楽しさを実感してもらうのを目的。コンクリートを使って2人乗りカヌーを製作し、技術とスピードを競い合うイベントを開催。	32校41チーム
中部	市民講座「ワー！地震だぁ！君んちの地盤は大丈夫？」	2014/07/29	オアシス21銀河の広場	①一般市民向けに液状化現象を分かりやすく解説した。②家の筋交いのある場合と、無い場合で地震時にどれだけ揺れが違うかを簡単なローラー台を用いて実演した。③盛土と切土、またその境界も家の模型を置いて揺らし、盛土と切土の境界の揺れが大きいことを実演した。	1,100名

●北海道支部

●東北支部

●関東支部

●中部支部

支部部門
http://www.jsce.or.jp/branch/

支部活動 (2/2)

- 土木学会には、全国に8支部があり、土木への理解とご意見をいただく機会として、各種行事を開催しています。各支部の代表的な行事をご紹介します。

各支部の活動

支部	行事名	開催日	開催場所	概要	参加者数
関西	平成26年度第1回 どぼくカフェ 『モノレールトーク』 カフェ	2014/ 09/11	大阪モノレール 万博記念公園駅 コンコース	2003年のフロアアテンダント立ち上げのころから活躍されているアシスタントマネージャー澤みゆきさんより、アテンダントのお仕事、育て方、お仕事のウラ側など「へえ～」というようなトリビアなネタを披露いただきました。	60名
中国	土木イメージアップ シンポジウム	2014/ 10/25	鳥取県立 生涯学習センター	第１部は講演とT&Iコンテスト優秀賞発表が行われた．第2 部は「女性・若者の就労に向けて」というテーマでパネルディスカッションを行った．	191名
四国	瀬戸大橋の塔頂を含む 体験ツアー	2014/ 09/28	瀬戸大橋主塔	四国各県より10歳から70歳代までの老若男女76名が参加された。普段は車や電車で利用している瀬戸大橋を「土木構造物」として見ていただくよい機会となった。	76名
西部	支部活性化のための 新規事業	2015/ 03/14	山王2号雨水調整池 （福岡市博多区 山王公園の地下）	市民に土木を伝えることを主眼として、親子を対象に、ツタエルドボクカフェ「潜入せよ！いのちをまもる謎の地下神殿」としたイベントを開催。	48組96名

●関西支部

●中国支部

●四国支部

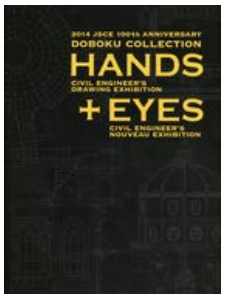
●西部支部

支部部門
http://www.jsce.or.jp/branch/

委員会活動：出版

- 土木学会では、学会内に設置された委員会活動の成果を刊行物として出版しています。示方書や教材など、土木を構成するさまざまな分野の書籍を多数発行しています。
- また、創立100周年周年記念出版の発行を18点予定しており、2014年度末までに14冊を発行しました。

主な刊行物



示方書、教材

出版委員会
http://committees.jsce.or.jp/pub/